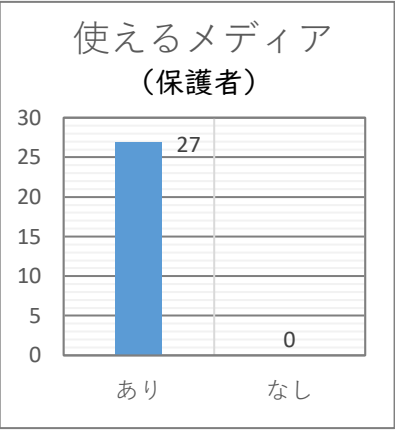
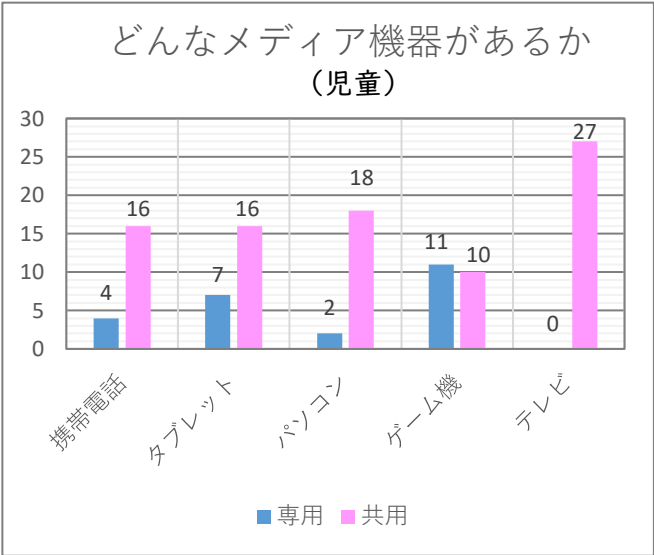
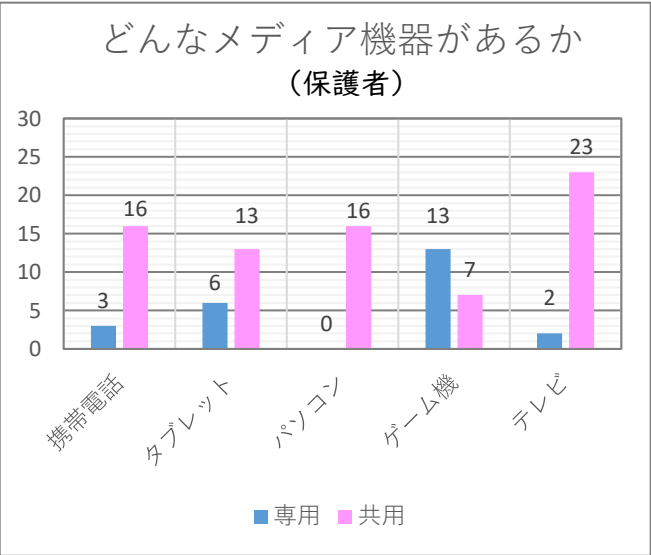
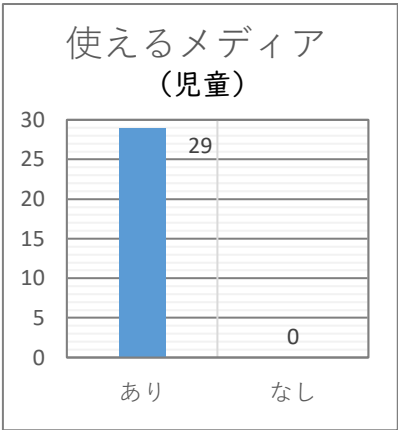


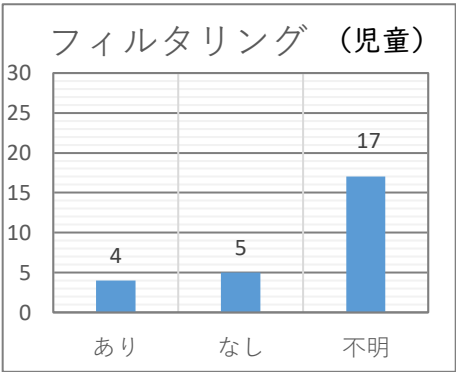
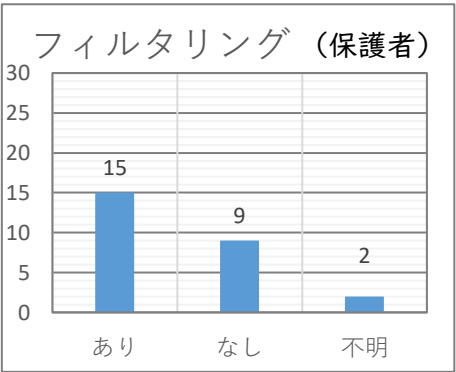
メディア等に関するアンケート（小学校）



どの児童も何らかのメディア機器が100%使えました。

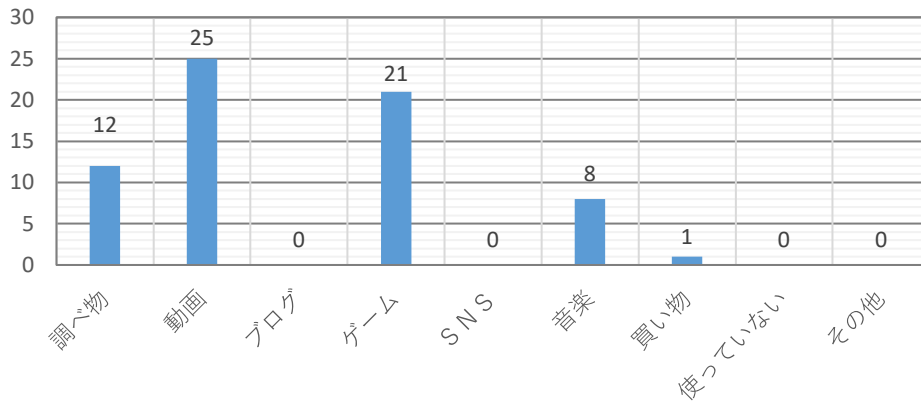


ゲーム機は、自分専用で持っている割合が高かったです。



メディア機器が自分専用でない児童が多いためか、フィルタリングで保護している割合は55.5%でした。メディア機器を使用する上で、フィルタリングがしてあるか知らない児童が多かったです。テレビやゲーム機は、オンラインで世界とつながるものもあります。動画等もいろいろなものが閲覧可能ですので今後注意が必要かもしれません。

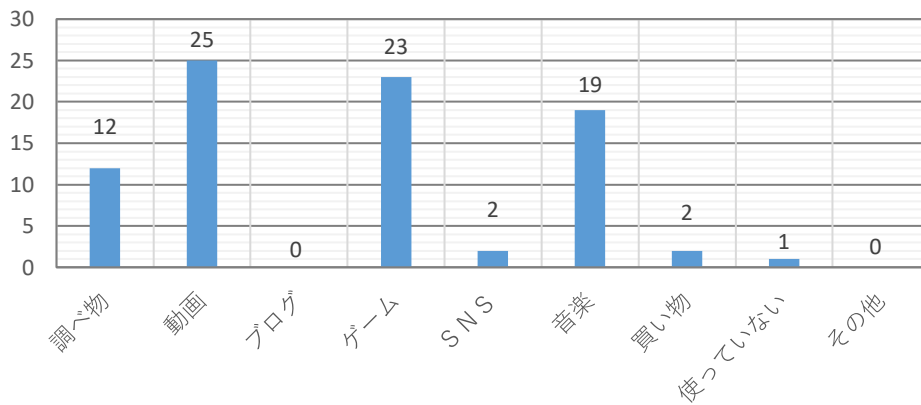
メディア機器で何をしていますか (保護者)



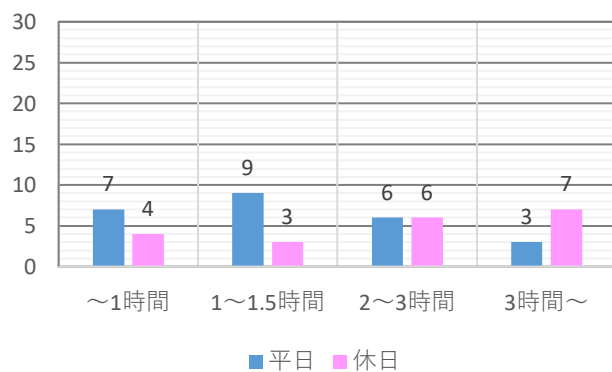
SNSや音楽は、保護者の認識と差があるようです。

メディア機器を様々な用途で使いますので、児童にとってフィルタリングは大切です。

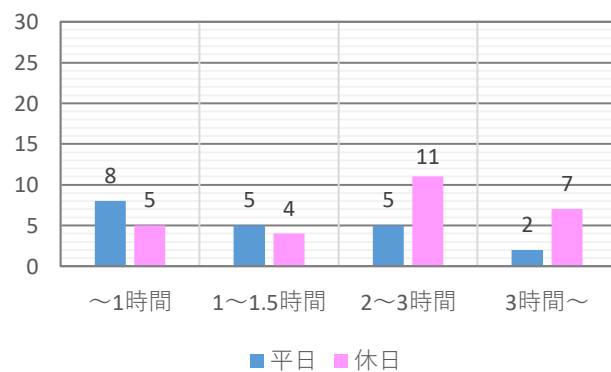
メディア機器で何をしていますか (児童)



1日の使用時間 (保護者)



1日の使用時間 (児童)

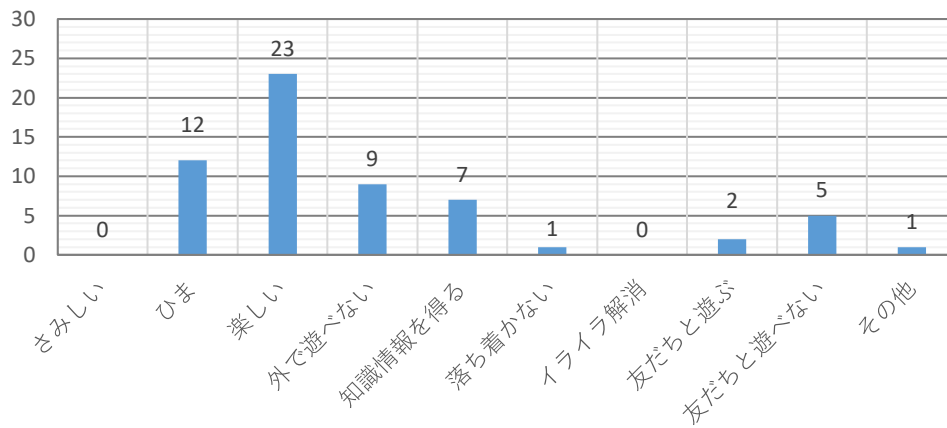


平日よりも休日の使用時間は長くなっています。

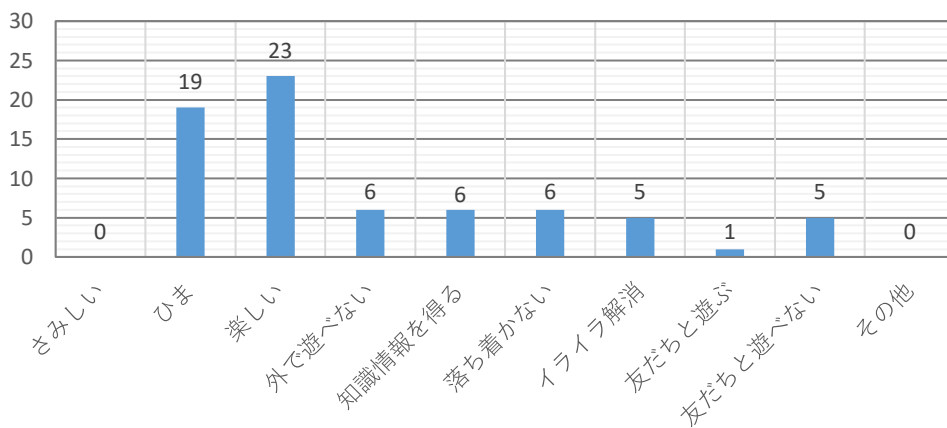
コロナ禍でもあり、外出が制限されることも一因でしょうか。

メディア以外の楽しみをたくさん作り、体験することが、メディア依存を予防します。

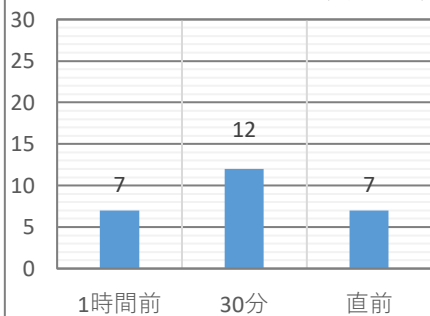
使用理由 (保護者)



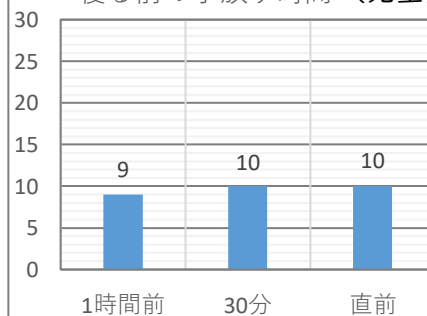
使用理由 (児童)



寝る前の手放す時間 (保護者)

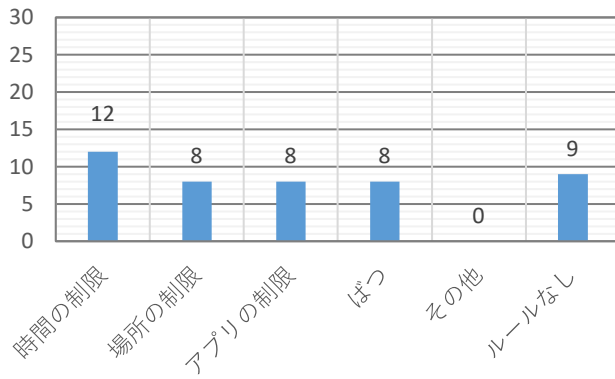


寝る前の手放す時間 (児童)

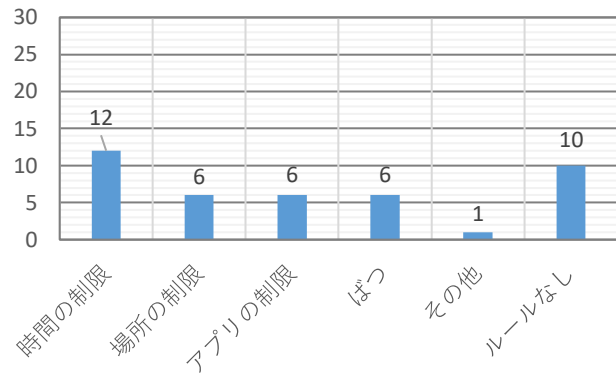


寝る直前までメディア機器を使用していると脳細胞が興奮したままなので、快適な睡眠がとれません。1時間前には手放して、ゆったりとリラックスして眠る準備をし、体と脳の疲れを取りましょう。

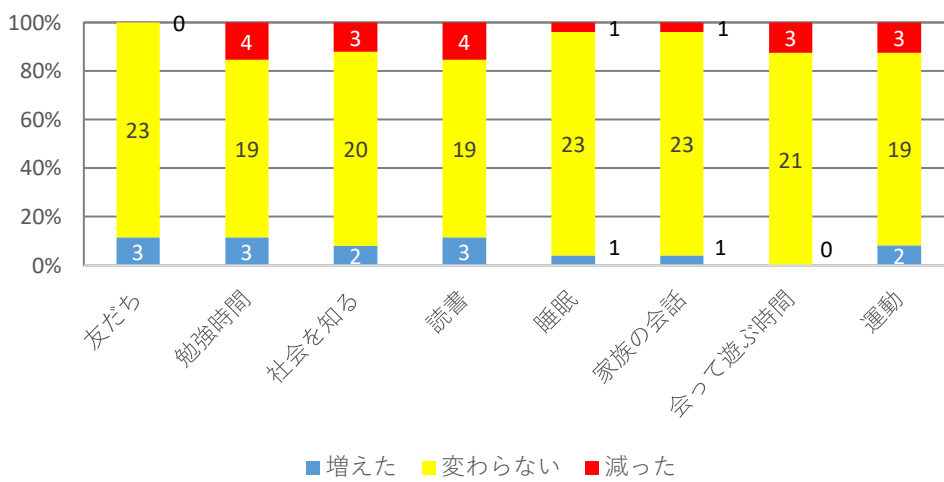
家庭でのルール（保護者）



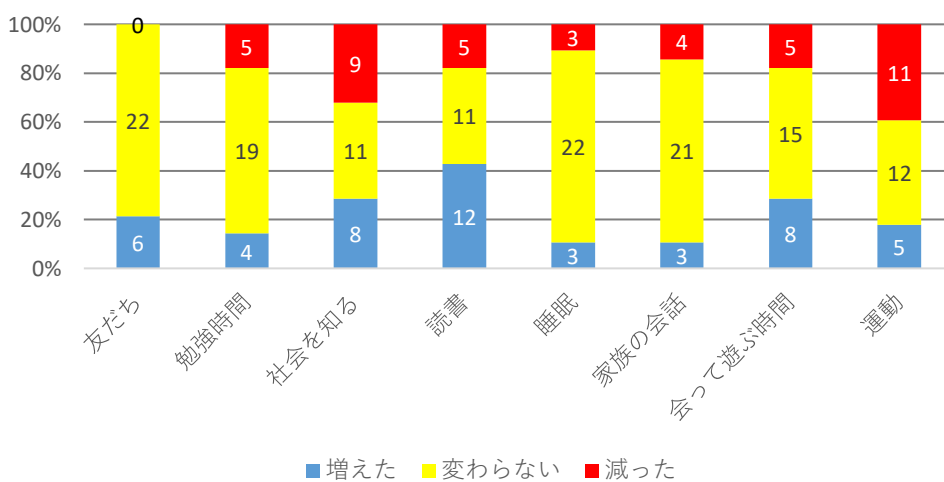
家庭でのルール（児童）



メディア機器による生活の変化（保護者）

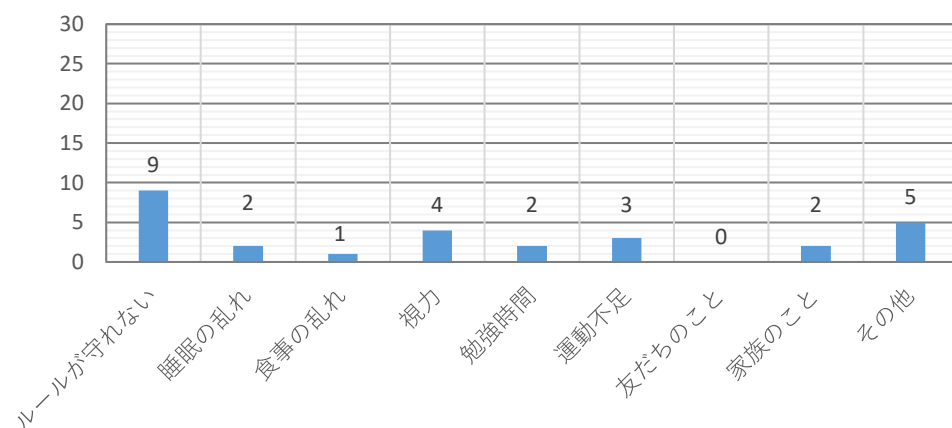


メディア機器による生活の変化（児童）



メディア機器の使用による生活の変化を感じている保護者は、8.8%でしたが、児童では18.1%が、メディア機器の使用により生活の中で変化した（減少した）行動があると感じているようです。特に「社会を知る」と「運動をする」時間の減少をあげています。

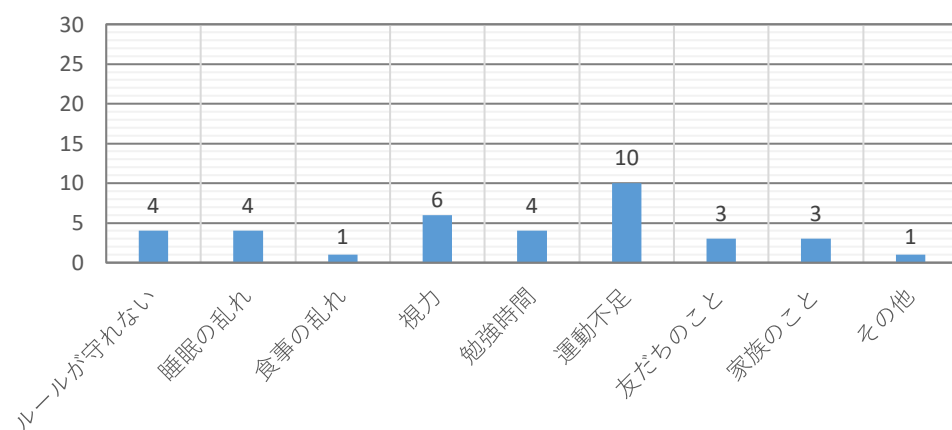
困っていること （保護者）



その他の詳細

- ・話しかけたときに反応しない、呼んでも返事をしないときがある。
- ・ルールを作らずに使わせているので、休日の使う時間をセーブしにくい。
- ・呼んでも無視する、返事のみで止められない、言われると怒る。
- ・食事の時にも動画を見ながら食べようとするので毎回怒って止めさせる。
- ・動画を見ながら勉強しているので、勉強に集中できていないように感じる。

困っていること （児童）



その他の詳細

- ・勉強にやる気が出ない。

保護者は、ルールを守れないことに大きく困った感がありますが、児童は、ルールを守れていないという認識は保護者の半分以下です。児童は、運動不足を多くが感じているようです。生活の中の変化でも同じ回答でした。

















